

令和元年度事業計画

1. 基本的な方向性

- ・ エネルギー分野は、市場規模が大きく、また、めまぐるしく情勢が変化する中で、新たなビジネスを生み出す可能性を秘めている。
- ・ 一方、大企業や大手新興企業の動きが活発である中、発電事業や発電に付帯する工事受注以外に、地場中小企業が、新製品やデバイス、サービスで新しいビジネスを見いだすことは決して容易ではない。
- ・ そこで、本企業会では、研究開発から人材育成、販路開拓まで切れ目無く支援するとともに、有望分野への新たな取組へと連鎖させ、県内エネルギー関連産業の成長を促進していく。
- ・ 令和元年度は、特に水素社会の到来に向けた水素関連産業の事業化支援や、地域と産業を有機的に結びつけ、エネルギーの効率的な活用を図るスマートコミュニティの形成等を支援するほか、その他のエコエネルギーについても新たなビジネスの芽を育てていく。

2. エコエネルギーチャレンジ支援

会員企業のエネルギーに関するチャレンジングなビジネス展開を総合的に支援

- (1) 研究開発支援（水素・スマートコミュニティ・その他地域課題の解決や地方創生に繋がるエコエネルギーに関する取組）
 - ・ 会員から、「新製品や部品の開発」、「試作品の実証試験」などの事業プランを募集
 - ・ 有識者による審査会を経て、採択された事業プランに対し、必要経費の一部を助成
 - 【補助率】 2 / 3 以内
 - 【補助上限額】 1, 0 0 0 万円（水素・スマートコミュニティ）
2 0 0 万円（その他）
 - 【その他】 単独企業による事業プランより、複数企業及び研究機関、大学等と連携した事業プランを優先
- (2) 分野別支援（全分野）
 - ・ 会員企業同士の意見交換会や、先進地視察、先進企業や専門家等を招いてのセミナーによる連携会議を開催
 - ・ 国の補助金や規制緩和要望、大学や研究機関との連携などについて、事務局がサポート

3. 人材育成・会員交流の取組

- (1) 最新情報等に関するセミナーの開催
 - ・再生可能エネルギーや省エネルギー分野に係る最新技術の情報、支援制度など、会員のニーズを把握したうえでテーマを設定し、専門家を招いたセミナーを開催
- (2) 商談交流会の実施
 - ・会員企業の製品サービスのPRや情報交換の場とするため、総会及びセミナーの開催にあわせた商談交流会を実施

4. 販路開拓・情報発信の取組

- (1) 展示会への出展
 - ・「スマートエネルギーWeek 2020」等への出展
- (2) コーディネーターの設置
 - ・再生可能エネルギー分野においては、専門分野に応じた人員を配置
 - ・省エネルギー分野においては、国の補助金を効率的に活用し、県内企業製品の売り込みなどを強化

① 新エネコーディネーター

業務内容	再生可能エネルギー設備（発電・熱利用）の導入に係る相談受付、現地調査、事業性アドバイス、資金調達、各種法令手続のサポート
配置人材	【再生可能エネルギー全般】 南政典（金融機関OB） 【地熱・温泉熱発電及び熱利用】 ジオテック(株)から派遣 【湯けむり発電システム】 地熱ワールド工業(株)から派遣

② 省エネコーディネーター

業務内容	補助、融資等の支援制度や省エネ設備に関する情報提供、支援制度の利用手続のサポート、省エネ設備サプライヤーの斡旋等
配置人材	NPO法人大分県地球温暖化対策協会より派遣

- (3) 専用ホームページ
 - ・企業会の取組について情報発信

(4) 会員向けのメールマガジン

- ・国、県等の支援施策情報をメールマガジンにより会員へ随時配信

※ その他

- ・その他必要な事業については、適宜、企画運営委員会において検討し、実施する。